

**令和8年南アルプス市議会  
第3回定例会(9月) 市長説明要旨（抜粋）**

（令和8年8月21日 定例記者会見用）

**南アルプス市**

令和 8 年南アルプス市議会第 3 回定例会  
市長説明要旨（抜粋）

本定例会における議案の説明に先立ち、公約に掲げております「3 本の柱」に沿った取組についてご報告申し上げます。

はじめに、「南アルプス市リニアビジョン」についてであります。2035 年以降に予定されているリニア中央新幹線の開業により、三大都市圏が約 1 時間で結ばれる巨大経済圏「スーパー・メガリージョン」が形成され、本市においても人口、産業、さらには働き方、暮らし方まで大きな変化が見込まれます。この機会を「100 年に 1 度の好機」と捉え、リニア開業を待つのではなく、自らの手でまちの未来をつくるため、「南アルプス市リニアビジョン」の策定を進めております。

本ビジョンでは、南アルプス I C 周辺をはじめ、市内各所、山岳・里山観光などの連携を図るとともに、将来的な交通ネットワークなどを一体的に捉え、「人を呼び込み、持続可能なまちづくりにつながる土地利用」を示してまいります。産学官金労言の代表者で構成する審議会や、経済・都市計画分野の専門家の知見を取り入れ、実効性のある「まちづくりビジョン」として取りまとめまいります。

次に、公約である「3 本の柱」に沿った取組について申し上げます。

まず、1 つ目の柱、『未来をつくる産業振興』についてであります。南アルプス I C 周辺整備事業では、中央エリアへの参入事業者である株式会社イドムとの立地協定に基づき、施設計画や事業スケジュールの具体化を進めております。必要な法令手続きを経て造成工事に着手し、学びや体験の機能を備えた複合型商業施設として、令和 10 年度の開業を目指してまいります。東部エリア及び西部エリアも、地域特性を生かした開発手法や導入機能の調査研究を進め、事業化を検討してまいります。

フモット南アルプスを活用した道の駅整備では、令和 9 年度の開業に向け、施設の設計や観光案内機能などの具体化を進めております。「つながる道の駅」をテーマに、市内 2 箇所目となる登録を目指し、I C 周辺や市内観光の周遊拠点として、機能の充実を図ってまいります。I C 周辺はコストコの出店を契機に多くの人を訪れ、フモット南アルプスではウォーターパークやナイトマーケット、新たな店舗の参入などにより人の流れが生まれております。この流れを地域全体の活性化につなげるため、各エリアと道の駅との相乗効果によって、民間投資や地域の賑わいを呼び込む拠点づくりを進めてまいります。

企業誘致については、御勅使南工業団地で株式会社コーセー南アルプス工場が操業を開始しました。将来的には約 300 名の雇用が見込まれております。上今諏訪工業団地では株式会社丸眞熱処理工業が本年 12 月の竣工を目指し、下今諏訪工業団地では武蔵エナジーソリューションズ株式会社が新工場の建設を進めております。今後も成長産業の集積、雇用の創出、地域経済の発展を実現してまいります。

商工業の振興では、中東情勢の不安定化に伴う資材価格の高騰や納期の長期化などにより厳しさを増す中小企業等の経営環境を踏まえ、利子補給規程を改正し、経営の安定化を支援してまいります。

観光推進では、「南アルプス市観光地経営戦略」の策定支援事業者を選定しました。市内の観光動態・資源を分析し、観光協会や事業者、道の駅フモット南アルプス、既存施設と連携して、魅力的な観光地づくりに向けた戦略を策定します。また、農園や温泉などの地域資源を生かした体験型観光ツアーのモデルコースを検討するとともに、海外旅行サイトを活用した情報発信により、誘客、市内周遊、観光消費の拡大につなげてまいります。

続いて、2 つ目の柱、『希望をかなえる子育て応援』についてであります。教育環境の充実と防災機能の強化に向け、小中学校の屋内運動場に空調設備の整備を進めております。民間事業者の技術やノウハウを活用し、早期整備と財政負担の軽減を図るため、D B O 方式により優先交渉権者を選定いたしました。安全で快適な教育環境と、避難所機能の強化を進めてまいります。

こどもの権利に関する条例については、制定に向けた準備を進めております。市民向けセミナーを開催したほか、こどもたちの声を条例に生かすため、親子向けのワークショップを開催いたします。こどもを「権利の主体」として尊重し、地域全体で成長と幸せを支える「こどもまんなか社会」の実現を目指してまいります。

放課後児童クラブでは、Wi-Fi 環境を整備し、小学 4 年生から 6 年生を対象に I C T を活用した運用を開始しております。若草南放課後児童クラブについては、令和 9 年 4 月の開所を目指して建設工事に着手いたしました。また、幼保連携型認定こども園の「山梨英和ロバートソンこども園」も、来年 4 月の開所に向け整備が進められております。9 月からは公立保育所給食費を無償化し、私立保育所等の利用者にも給食費相当額を給付することで、施設の種別を問わず子育て世帯を支援してまいります。

こども家庭相談では、県内初の「児童育成支援拠点」を開設し、生活習慣、学習、相談など、個々の状況に応じた支援に努めてまいります。また、児童精神科医監修の「親子はぐくみプログラム」を作成し、妊娠期から思春期までの

発達段階に応じた親子関係を学ぶ機会を提供し、こどもの自己肯定感や自立につながる力を育てるとともに、虐待、不登校、いじめなどの予防や早期支援につなげてまいります。

最後に、3つ目の柱、『魅力あふれる地域整備』についてであります。  
地域公共交通では、11月から百々・上八田地区を中心にA I オンデマンド交通の実証運行を開始します。地域のニーズや効果、既存公共交通との連携を検証し、通院や買い物などの利便性向上と外出機会の確保につなげてまいります。

新鏡中条橋については、交通利便性向上、防災力強化、産業、地域間交流の拡大など、将来の土地利用に重要な役割を担うため、具体的なルート案を検討しております。今後は関係市町と連携して県への働きかけを強化し、広域的な道路交通ネットワークの早期整備を進めてまいります。

続いて、現在進めております主な事業についてであります。

物価高騰対策として、影響を受けやすい75歳以上の高齢者を対象に、物価高騰対応臨時交付金を活用してクオカードを配布いたします。今後も物価動向と市民生活への影響を的確に捉え、必要な支援を実施してまいります。

市役所の開庁時間については、市民の利便性向上と持続可能な行政運営のため、試行的に10月1日より午前9時から午後4時30分までに変更いたします。併せてオンラインサービスの拡充やデジタル化の検討を進め、行政サービスの質の向上を図ります。また、住民票等のコンビニ交付手数料を1通100円に減額しておりますが、10月から税証明書も対象に加え、市民が時間や場所にとらわれず行政サービスを利用できる環境を整えてまいります。

公約の実現に向け、残された任期に全力を尽くし、未来の南アルプス市の確かな礎を築くため、責任と決意を持って市政運営に取り組んでまいります。

続きまして、本定例会に提出いたしました案件についてご説明いたします。  
市議会第3回定例会に提出いたしました案件は、補正予算の専決処分につき承認を求める案1件、条例案6件、補正予算案6件、契約案1件、財産に関する案5件、市道路線に関する案2件、地方公営企業事業会計利益剰余金の処分に関する案2件、同意案1件、決算の認定案15件、諮問8件、合わせて47件であります。

詳細については、総務部長、総合政策部長、会計管理者及び上下水道局長から説明いたします。